

グーフォ・かわち 保護者会より

新年によせて

グーフォ・かわち保護者会会長
野口 正

新年あけましておめでとうございます。保護者代表として新年のご挨拶を申し上げます。会員の皆様、職員の皆様、また地域の皆様方に支えられながら、新年を迎えられたこと、大変心強く幸せに存じます。

また会の運営につきましても、ご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

昨年は事業計画居住サービスを取り組みの一端として各関係機関の担当者をお招きし「地域生活移行に伴うグループホーム・ケアホーム・ショートステイ等の整備に向けて」といった主題で保護者会主催の第一回勉強会を開催しました。保護者二十五名の方が参加していただき、質疑応答交えての勉強会となり、大変意義ある研修会でした。

また継続事業では三月に手作りみそ寒仕込み作業のお手伝い、十月に第三回グーフォ祭模擬店出店、十一月に第二十九回河内ふるさと産業祭・農産物販売と日用品のバザー等、各々の行事にご協力下さいましてありがとうございます。皆様の協力により、僅かな収益金ではありますが、会の運営等に有効活用してまいります。と考えております。

本年の一月は施設内外の清掃作業終了後、職員・利用者・保護者を合流して、今月初めて経験する新年会を食堂において開催しました。七十一名の参加者の皆様はグーフォ・かわちの益々の繁栄と皆様方のご健康とご多幸を誓いながら、希望を新たにしました。

さて、一月以降の活動につきましては事業報告を遂行しながら、皆様の知恵を拜借してグループホーム・ケアホーム・ショートステイ等施設に相応した施策を考えていきますので、昨年同様ご理解とご協力の程お願い申し上げます。最後にになりますが、皆様方の益々のご繁栄とご多幸をお祈りいたします。



♪工場見学♪巨大なキョロちゃん&ハイ!チーズ♪

グーふおだより



編集・発行
社会福祉法人
河内四つ葉会
グーフォ・かわち

〒329-1105
栃木県宇都宮市
中岡本町3178-3
TEL 028(673)0002
FAX 028(671) 0785

五周年を迎えたグループフォ・かわち

社会福祉法人河内四つ葉会 理事 郷間 貞男

明けましておめでとうございます。

二女が開所時からお世話になっております。「グーフォ・かわち」の前身である「あゆみの家」で保護者会長を受けていた関係から、理事として施設運営に参加しています。以前と比べ、マイクロボスによる送迎と自前の給食は保護者の負担が軽くなりました。授産種目も増え、利用者がそれぞれの適性に合った分野で生き生きと働いている姿は見ていて気持ちの良いものです。「グーフォ祭」等でクラブ活動の成果を発表、回を重ねる毎に堂々としてきました。利用者の頑張りと指導の先生方の熱意の賜物と感謝しています。

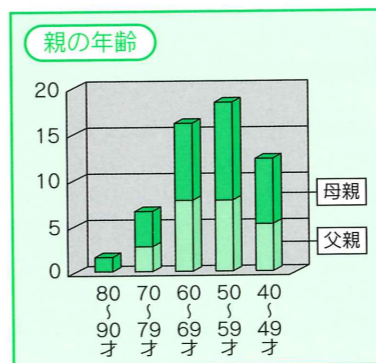
保護者も各種行事に積極的に参加、施設と協力し雰囲気盛り上げています。「グーフォ祭」では毎年、模擬店を出店、盛況を醸しています。昨年は焼きそば、芋フライ等七品目で行いました。

利用者の自立に向けて、「個別支援計画」が立てられていますが、なかなか目標まで到達できません。モニタリングにより現状を把握し、施設と家庭でさらに目標に向かって支援しなければならぬことを実感しています。親亡き後を考える年代になってきました。若い時分は気にも留めなかったことですが、将来に向け、地域で住み続けられるように少しでも自立した生活を過ごさせたいと思います。今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。

保護者会アンケート調査抜粋 (21年7月現在)(32名回答)

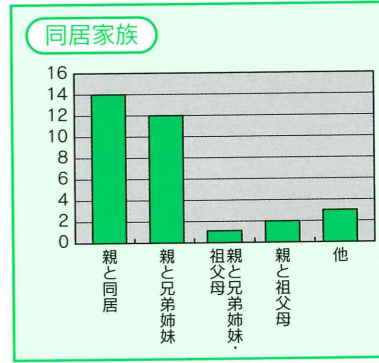
「利用者」を支える親の年齢層

親の年齢	父親	母親
80~90才	0	1
70~79才	2	4
60~69才	8	8
50~59才	8	11
40~49才	5	7



あなた(利用者)は現在誰と一緒に暮らしていますか

親と同居	14
親と兄弟姉妹	12
親と兄弟姉妹・祖父母	1
親と祖父母	2
他	3



六年目の新しいグループフォ・かわちに向かって

グーフォ・かわち施設長 峰 寛子

あけましておめでとうございます。グーフォ・かわちも丸五年経とうとしています。開所時二十四名だった利用者も毎年三名、四名新卒者が加わり、今年度三十九名、平均年齢も若くなり、休み時間も年々にぎやかになります。この間二十一年二月食堂南側を作業場として増築、二十二年三月農園芸のハウス(自動温度コントロール付)を建て、財団法人生活共済会よりさをり織りを寄贈していただき環境整備も何とかしてまいりました。

何よりも利用者さんが明るく元気に通っていること、利用者さん一人一人がそれぞれのペースで成長していること、全体としては作業から生産活動として力をつけてきています。音楽、ダンス、絵画、行事などができてか堂々として、その姿に感動を覚えます。グーフォ祭も第三回となり、それは楽しそうに利用者共演者、保護者、ボランティア、職員、地域の方々と過ごすことができました。一年一年積み重ね成長してまいりましたが、これも関係機関団体、ボランティア、保護者の皆様のご支援と、ご協力があったことと心より、感謝申し上げます。また現場スタッフの努力に感謝です。

新事業移行に向けての六年目。今、開所前に開所までの準備で過ぎた仮事務所でのことを思い出します。「良い施設」を創るために「良い支援者」になること、「職員の倫理規定」の中身の確認から始まり、あゆみの家での実習中に一人一人をしつかり観察し、「コミュニケーション、作業工程を分析し、一つ一つの作業のマニュアル作り。一日の流れ(送迎、朝の受け入れ、掃除、帰り)をイメージして留意事項を考慮してのマニュアル作り。そして自分の課題を持って他施設での実習。新しい施設を立ち上げる夢を持って支援者になる一人一人が自分の思いとイメージを持って開所に臨みました。

新事業移行への今年は新しく変えていかなければならない課題が多くあります。六年目からの「新しいグーフォ・かわち」を創るために支援者一人一人が新しいグーフォへのイメージを作り、熱い思いを持って取り組んでいけるように共に準備していきたいと思っております。

編集後記

兎年が明けました。兎年にちなんだ四字熟語で鳥飛兔走(うひとそう:月日がたつのはあわただしくはよいこと)という言葉がありますが、あわただしく過ぎてしまう日々の中でしっかりと物事に向き合っていくことの難しさを感じる今日この頃です。そして今年はどうなるのでしょうか?兎にあやかり社会の情勢も是非「兎の上り坂」で上り調子になり、グーフォも新法移行で新たな「跳躍」の年になることを願わずにはられません。年末に発表された昨年の漢字は「暑」。最近の漢字はあまり良い連想のできるものが少ないように思いますが、グーフォの今年の漢字は「喜」となってほしいです。(三谷)

今回、グーふおだよりを担当し、編集後記を書くに当たり、今までの「グーふおだより」を読み返してみました。すると発行される度に着実にグーフォ・かわちが育ってきていることを実感できました。それも保護者の皆様を含め地域でのつながりが広がってきていることだと思えます。この場をお借りして改めて感謝の気持ちを表したいと思えます。新年もグーフォ・かわちが育っていけるように元気ハツラツに励んでいきたいと思えます。(草柳)

保護者会よりお知らせ

2月 施設見学
4月 第5回定期総会

新商品紹介コーナー

- * 黒米食パン
黒米20%配合でもっちり
おいしい!ヘルシー!
- * シナモンブレッド
ボリューム大満足☆
シナモン好きの方は是非!
- * セサミクッキー
甘さ控えめ!
パリパリかる〜い
食感です!



各 授 産 報 告



去年の猛暑は大変なもので、オープンや冷蔵庫の機械の熱で汗だくになりながらパングループ丸となって様々な行事を乗り越えてきました。

9月には初めてオリオンスクエアでの販売に参加しました。残暑が厳しい中完売、ステージのアトラクションやダンスにも楽しみました。秋にはたくさんのパン販売の行事があり、例年通り忙しい日々を送りました。特にグーフオ祭では「グーフオのパンを楽しみにして下さっている方々の為にも、良いものをたくさん作ろう」と利用者・職員共に意気込んで臨みました。数日前から忙しい合間をぬって、材料の計量や在庫の補充を行い、限られたスペースと時間で多くのパンを作るのかということに頭を悩ませました。通常のパン製造を行いながらもやり遂げた利用者さんの頑張りはすばらしいものでした。当日は夜明け前の朝4時から職員でパン作り、包装や販売に携わっていただいたボランティアの方、笑顔と大きな声で呼び込みをして販売をして下さった利用者さん、忙しい合間にパンを買って下さった保護者の皆様のお陰で約680個のパンとクッキーが完売しました。昨年新発売のパンやベーグルの売れ行きも好調で新たな販売先として「どんぐり」さんでもご好評を頂いております。販売のボランティアの皆様のご尽力で地元でも人気になっているのだと思います。これからも「健康・安全・おいしい」をモットーに頑張っていきます。



22年度の新しい取り組みとして11月から白澤病院のご紹介で「しらさぎ荘」にもお花プランターをリースし週1回の手入れが始まりました。しらさぎ荘の利用者さんや職員の方から色とりどりのお花が玄関周りに並んだことで明るくなったと大変喜ばれました。またグーフオの利用者さんも地元での作業の場が増えたことでますますやる気が出た様子です。



ユニオン通りで好評 無農薬野菜

もう一つの新しい取り組みとして、ユニオン通り商店街にて野菜・お花のポット販売を11月に行いました。お天気にも恵まれ、以前よりプランターリースなどでお世話になっている商店街の方々が大勢買いに来て下さり、大盛況でした。また地元の方からも「安い!」の一言、次回の販売を期待して下さる声が多くありました。利用者さんも普段直接販売する機会がないので、お客さんとのやり取りを楽しみ、自分達の育てた野菜・お花が売れるととても満足している様子でした。今後も農産物販売を生産状況を見ながら行っていききたいと思います。



真剣に取り組む 受注作業

22年の夏は猛暑でしたが農園芸のメンバーは午前中農作業、午後は室内作業に励み、なんとか暑い夏をやりぬくことができました。暑くて大変だったのは利用者さんだけではなく、野菜・お花も育てる上で苦労した夏でした。特に野菜は不作ということが多く見られました。今年は暑さ対策をし、皆様に喜ばれるような新鮮で美味しい野菜・きれいな花を作っていきたいと思います。

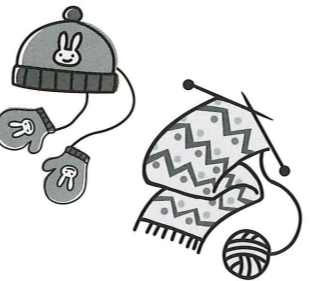


作業では昨秋に久和物流株式会社さんから「マルハニチロ」のお歳暮ギフト用の缶詰を入れる箱折作業を初めて受注しました。指紋が付かないように綿の手袋をして行う等、細心の注意を払いながら行う作業であり、試行錯誤の連続でした。利用者さんの特性を活かしながら、外箱組み立て、仕切り折り、外箱と仕切りの組み込み作業と分担をしながら進め、利用者さん・職員共に貴重な経験をすることができました。新たな受注先や製品の開拓に繋がればと思います。その他の作業では株式会社カンテックさんより部品作業としてナット・ボルト・ワッシャーの小さな3種類の部品を2個ずつ、計6個を袋に入れる作業を多く受注しました。とても細かい作業で、数千個単位での注文でしたが、慣れるにつれ正確性も向上し、ペースアップが図れ、部品作業についてもスキルアップが図れました。

その他、宇都宮市の廃食用油資源化事業では今後も回収拠点が増えていく予定で、今後ともご家庭で出ました廃食用油の回収にご協力をお願いいたします。Tシャツプリントではグーフオ祭で実演販売をし、好評をえました。また徐々に周知されるようになり、特別支援学校や企業等からの注文が入ってきていますが1枚からでもご注文をお受けしますのでお気軽にご相談下さい。今年も利用者さんと職員が力を合わせて更なる受注の増加や工賃アップを目指して頑張っていきたいと思っております。



織物の作業場が移動して2回目のお正月を迎えました。振り返ると1年目は新しい場所に慣れずに戸惑う利用者さんの姿がありました。それが2年目には新しい仲間も増えて5人になり、皆で揃って織機に向かう姿が増えています。一人一人織ろうとする姿勢が芽生え始めて、それが一反一反の織りに表れ、売り上げにも繋がった一年だったように思います。というのは、わくわくショップ(宇都宮市役所内)での販売も2年目になり、新規顧客やリピーターを増やすことが課題でしたが、そんな心配をよそに、マフラーやポシェットの客注が相次ぎました。またわくわくショップや各行事の参加をきっかけに、記念品の依頼が増え、グーフオの織りの良さが浸透してきているようでした。これらの注文を請けることができたのは利用者さん一人一人が落ち着いて織りに向かう時間が増え、生産量が増加したためです。きれいに織ることや新しい糸を試してみる、誰かに喜んでもらえることを意識できるようになったことがその背景にあります。それがグーフオの織りに新しい個性と利用者さん自身の可能性を広げたように思います。またそれを支えて下さるボランティアの方々には猫のストラップ等の新作を製作していただきました。



私は昨年スマトラ島沖地震による大津波の被害を受けた方の経済的支援と心のケアを目的に始まった「TUNAMI」という名のさをりに出会う機会がありましたが、支援としてではなく欲しいと思って買ってもらうことが一番の喜びだと教わりました。利用者さんが自分の意思で織ることや誰かに喜んでもらうことにやりがいを感じられるそんな織りを皆と一緒に目指していければと思っています。



グーフオ トピックス

自立支援法への移行 グーフオの取り組み

- * 新事業移行時期は平成二十三年十一月一日
- * 多機能型で事業種別は
 - ①生活介護事業
 - ②自立訓練事業(生活訓練)
 - ③就労継続(B)事業

昨年十一月七日(日)グーフオ・かわちで「新体系移行についての説明会」を行いました。まず旧体系と新体系の違いについて、新体系事業の六つの事業について、このうちの三つの事業を行う多機能型で行うこと、移行に向けた準備の中で「障害程度区分」の判定が重要になってくること、工賃支給や、個別支援計画等の検討が必要になってくること、施設報酬等をお話ししました。

この日出席できなかった方々も一月中にはほぼ説明と新事業別グループの個別面談を持つことができました。新事業のグループの話合いではほとんど事業者側の案と保護者との見解が一致しておりましたので、このまま進めてまいります。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。尚、障害程度区分の判定時期は今、市の方で検討中です。決定次第ご連絡します。その際にはまたご協力下さい。

(参考)
平成二十二年十二月三日、障害者自立支援法の改正を含む法律案が参議院で可決成立しました。この改正案は昨年の通常国会に提案され廃案となったものと同じもの。推進会議や総合福祉部会との整合性を図るため障害者自立支援法が廃案されるまでの時限立法であることを明確化した上で「障害者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害者等の地域生活を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律案」という大変長い名称になっています。

グーフオの行事 アラカルト

第二回 グーフオ祭

四百名の来場者を迎え、盛大に開催!

十月十六日(土)に第三回グーフオ祭が酷暑だった夏の影響の残る青空の下、四百名の来場者を数え、盛大に開催されました。

今回のアトラクションでは二年連続で「和太鼓キッズゆりかご」と「UST」の皆様にご出演いただきました。「和太鼓キッズゆりかご」の皆様には勇壮な演奏で華々しくオーブニングを飾っていただきました。宇都宮短期大学「UST」の皆様による若さ溢れる爽やかなダンスに元気をいただきました。初出演としては津軽三味線「めびよん」の皆様をお招きし、初めて聞く音色に感激でした。また津軽弁の講座や三味線に触れる機会もあり、貴重な体験をすることができました。中でも三味線の皮が猫の皮でできていることや小学生の演奏の披露に驚きの連続でした。

グーフオの音楽クラブの発表では「ひとりぼっちの羊飼いの私のお気に入り」の2曲。フランダースクラブの発表では「ハリハリ」の浜辺で日頃の練習の成果を披露することができました。

模擬店では今回も保護者会の皆様にご協力をいただき、手作りの美味しさに舌鼓を打ちました。授産品販売ではさわり織り製品や無農薬野菜、焼き立てパンの他、Tシャツプリントの実演販売も行い、好評を得ました。

午後は施設紹介のクイズや来場者全員でのピンゴ大会を行い、大いに盛り上がりました。今回も多くの方々のご協力を得て、盛大に開催されました。ここに厚く御礼申し上げます。



地域で初披露 河内地区ふれあい祭



十一月二十八日(日)河内総合福祉センターで行われた第三回河内地区ふれあい祭に参加しました。当日はお天気にも恵まれ来場者も多く、パン、さわり織り製品の販売も好評を得ることができ、パン販売は販売開始から40分ほどで完売しました。

今回は発表部門に挑戦し、全員でお揃いの衣装(ベストとTシャツ)を着てハンドベル・トーンチャイム・パーカッションを演奏しました。皆堂々と演奏することができ、発表終了後は地域の方々から盛大な拍手をいただきました。利用者さんも達成感がある様子で、満面の笑みがこぼれました。

また前回に引き続き、作品部門で絵画の展示を行いました。三十九作品が展示された光景は色鮮やかで来場した方に楽しんでいただけたようでした。

今後も地域の方々にグーフオ・かわちをよりご理解いただけるような色々な形で発信していきたいと思っております。